

第3学年 理科 学習案内

1. 学習目標

- 物質分野 ⇒イオンのモデルと関連付けながら観察・実験を行い、結果を分析し、化学変化における規則性や関係性を見出して表現させる。
- エネルギー分野 ⇒日常生活にあるエネルギーと関連付けながら観察・実験を行い、結果を分析し、力の合成・分解、物体の運動や様々なエネルギーの規則性や関係性を見出して表現できる力をつける。
- 生物分野 ⇒生命の連続性についての観察・実験を行い、結果や資料を分析し、生物の成長と増え方、遺伝現象、多様性や進化についての特徴や規則性を見出して表現できる力をつける。
- 地球分野 ⇒身近な天体とその運動に着目して観察・実験を行い、結果や資料を分析し、地球から見える天体の動きや見え方の規則性や特徴を見出して表現できる力をつける。
- 科学技術と環境分野 ⇒最新の科学技術とその活用を資料や実験を通して知識を深めるとともに、自然災害のメカニズムを学習する。また、防災・減災など自然環境保全の取り組みを知り、科学技術のあり方を議論させ、自分の考えを表現させる。

* 共通の目標・・・見通しを持った実験の計画の立案や観察・実験の技能の習得及び学習内容の探求の過程を振り返ること。

2. 学習計画

学期	月	学習内容		テスト計画
1 学 期	4	[生命] 生命の連続性	単元導入 1章 生物のふえ方と成長 2章 遺伝の規則性と遺伝子 3章 生物の種類の多様性と進化	小テスト 単元テスト 第1回到達度テスト
	5			
	6		[物質] 化学変化とイオン	単元導入 1章 水溶液とイオン 2章 電池とイオン 3章 酸・アルカリと塩
7				
2 学 期	8	[エネルギー] 運動とエネルギー	単元導入 1章 力の合成と分解 2章 物体の運動 3章 仕事とエネルギー 4章 多様なエネルギーとその移り変わり 5章 エネルギー資源とその利用	小テスト 単元テスト 第2回到達度テスト 第3回到達度テスト
	9			
	10			
	11			
12				
3 学 期	1	[環境] 自然と人間	単元導入 1章 自然界のつり合い 2章 さまざまな物質の利用と人間 3章 科学技術の発展 4章 人間と環境 5章 持続可能な社会をめざして	小テスト 単元テスト 第4回到達度テスト
	2			
	3			

3. 評価の観点・方法

評価の観点	評価方法
知識・技能	到達度テスト・小テスト・単元テスト・ノートの記述（振り返り含む）・実験レポート
思考・判断・表現	到達度テスト・小テスト・単元テスト・ノートの記述（振り返り含む）・実験レポート
主体的に学習に取り組む態度	小テスト・ノートの記述（振り返り含む）・パフォーマンステスト・実験レポート

4. 学習方法・流れ

『問題提起（事象の疑問点）を挙げる⇒実験・観察・結果の共有⇒関係性を見出す⇒小テスト』のサイクルで学習することが望ましい。

実験の前の問題提起ができると実験に深みが出てくる。また、社会にある科学技術の基礎を知ることができる。学習の定着のために小テスト・単元テストを行います。家庭でワークなどの問題演習での復習をしてください。